

B 免疫グロブリン ・免疫グロブリンのはたらきや特徴を理解する。 やってみよう 免疫グロブリンの種類を調べる ・書籍やインターネットで免疫グロブリンについて調べる。 <発展>抗体の構造 ・抗体について構造を学習することで理解を深める。 C 予防接種とワクチン ・予防接種のしくみを理解する。 やってみよう さまざまなワクチンについて調べる ・乳幼児期に接種するワクチンと感染症について調べる。 <コラム>血清療法 ・血清療法のしくみと歴史を知る。			知	○	【知技】 一次応答と二次応答のしくみと、免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解している。 [発言分析・記述分析]	記憶細胞による免疫記憶により、同じ病原体が体内に侵入した際は、発症する前に除去できることを理解している。また、このしくみが予防接種に利用されていることを理解している。	教科書 p107 図 a と図 b の比較、図 6（抗体の産生量の変化）のグラフから、同じ病原体が体内に侵入した際の抗体量に注目するよう助言する。
3 節 免疫とさまざまな疾患							
Let's Start! ・アレルギーについて考える。 A アレルギー ・アレルギーの定義や症状について理解する。 やってみよう 食品のアレルゲン表示と食品以外のアレルゲンを調べる ・アレルゲンについて調べる。 <発展>花粉症の起こるしくみ ・花粉症発症のしくみを例にアレルギーの発症について理解を深める。	2	112～115	知	○	【知技】 アレルギー、自己免疫疾患、AIDS などの疾患のメカニズムを理解している。	アレルギーがアレルゲンにより引き起こされる過敏な免疫反応であること、自己免疫疾患が自身の細胞や物質に免疫反応が起こること、AIDS が HIV の感染により引き起こされることを理解している。また、その予防方法や治療方法について調査をして理解している。	アレルゲンはヒトにとって有害かを考えさせ、過敏な免疫反応であることを気付かせる。また、自身の細胞や物質に対して免疫反応が起こったら、どのような障害が起こるかを考えさせる。AIDS については保健での学びを振り返るよう助言する。
B 自己免疫疾患 ・1 型糖尿病などの自己免疫疾患について理解する。 やってみよう 自己免疫疾患を調べる ・対象となる器官の違いによって、さまざまな自己免疫疾患があることについて知る。 C HIV と AIDS ・AIDS を例に免疫機能の低下による疾患について理解する。 まとめてみよう 免疫を図で整理 ・免疫について整理する。 <コラム>パンデミックを防ぐ戦い ・天然痘ワクチン発明の経緯や、エビデミックやパンデミックの歴史を知る。			態	○	【態度】 免疫について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。 [記述分析]	学習した用語を用いてコンセプトマップを作成している。また、他者のコンセプトマップを確認し、自身のコンセプトマップを修正している。	教科書やノート、プリント等を確認させ、学んだ内容を思い出しながら、関連する語句をつなげるように助言する。また、他者の記載内容を確認して、作成方法を理解させる。
章末 ・用語の確認 ・まとめ図	1	116～117	知		【知技】 この章の学習内容について、基本的な知識を身に付けている。[記述分析]	用語の確認とまとめ図の作成を的確に行っている。また、解答がでなかった部分について、学習内容を振り返っている。	わからない部分は模範解答を確認して、該当する教科書の部分を振り返るよう助言する。

重点・・・重点的に生徒の学習状況を確認する観点
記録・・・記録に残す観点